

傘袋ロケット飛んだ

和田幼稚園
科学の楽しさ学ぶ

玉野高生教室
講師に

玉野高の生徒が講師で開かれた。生徒がビニールの傘袋とストローを務める理科の実験教室が24日、和田幼稚園でロケットを作り、

昨年10月に茨城県つくば市で開催されたモ

デルロケットの全国大

会に出場した1人を含む理系選択の生徒4人が訪れ、年長組の園児

16人が参加。生徒は園児の手を取りながら丁寧に指導し、ビニール

の傘袋に息を吹き込ん

で膨らませて作る傘袋

が园児に科学の楽しさを

伝えた。

園児はロケットに尾翼を付けると真っすぐ

に飛び、距離も伸

びることを説明。園児たちは出来上がった

ロケットを飛ばすと

(6)は「羽根を付けた

ロケットを飛ばすと

(7)は「めっちゃ飛ぶ」「真

ら飛ぶようになつて樂

しきつた」、林礼恩ち

やん(6)は「僕もお姉

さんたちみたいにロケ

ットを作りたい」と笑

顔を見せた。

(内田貴大)

「めっちゃ飛ぶ」「真ら飛ぶようになつて樂しきつた」、林礼恩ちやん(6)は「僕もお姉さんたちみたいにロケットを作りたい」と笑顔を見せた。

「今回の教室を通して、園児が科学やロケットに興味を持つてくれた。(内田貴大)



一緒にロケットを作る玉野高の生徒と和田幼稚園の園児